

成績評価における GPA 等の客観的な指標の認定について

1.GPA 制度

GPA 制度は、アメリカなどの大学で一般的に行われている世界標準的な成績評価方法で、日本でも多くの大学で導入されています。GPA とは、「Grade Point Average」の略で、授業科目の成績評価に対しての点数（Grade Point）を与え、その点数に各科目の単位数を乗じた合計を、履修科目の総単位数で割って算出した平均値のことをいいます。

この GPA は、学修への取り組みを質的に把握するための指標となり、学期ごとに比較することで、学修した成果を判断する目安となります。本校では、学生の学修指導等の参考資料として活用しています。

2.成績評価と GPA

試験等の評価

評価点	G P	評価記号
90点～100点	4.0	S
80点～ 89点	3.0	A
70点～ 79点	2.0	B
60点～ 69点	1.0	C
59点以下	0.0	D
認定	—	N

3.GPA 算出方法

$$\text{GPA} = \frac{[\text{履修科目の GP} \times \text{その科目の単位数}] \text{の総和}}{\text{全履修科目の総単位数}}$$

※小数点第2位以下四捨五入

※分母の総単位数には不合格科目の単位数を含む